

令和7年度 第53回



教育実践研究論文募集

主催
公益財団法人
日本教育公務員弘済会宮崎支部
後援
文部科学省
宮崎県教育委員会
宮崎県市町村教育委員会連合会
宮崎県校長会
宮崎県立学校長協会
宮崎県公立小・中学校教頭会
宮崎県立学校副校長・教頭会

趣旨

宮崎県内の教育関係者が使命感と情熱をもって教育実践に精励されることを念願し、教育実践研究論文を募集します。

研究課題 「生きる力」を育む教育活動 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～

未来の社会を見据え、児童生徒の資質・能力を育成に当たっては、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習指導の充実を改めて捉え直し、これまで培われてきた工夫に加え、ICTの新たな可能性を指導に生かしながら主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげていくことが重要です。授業づくりに当たっては、「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、さらにその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、両者を一体的に充実していくことが必要です。

このことを踏まえたうえで、各学校では、子供たちの実態や学校・地域の特性を的確に把握し、課題を明確にしなが、日々の諸教育活動を展開・充実しなければなりません。学校の全教育活動をとらえて課題解決を図り、子供たちに「生きる力」を育むことが大切です。

そこで、下記分類により「生きる力」を育む充実した教育活動の展開を期し、標記を研究課題とした教育実践研究論文を募集します。「学びに向かう力を育む ひなた学び」の視点に立ち、日々の具体的な実践に裏付けられた教育実践研究論文の応募に期待しています。

募集内容 【学校研究部門】 各学校における主題研究を中心とする教育実践及び特色ある教育活動の実践（提出は校長名で）

【個人研究部門】

第1類 教科指導に関する教育実践

第2類 生徒指導、特別支援教育、道徳教育（「特別の教科 道徳」も含む）、特別活動、総合的な学習の時間、キャリア教育、情報教育などを中心とする教育実践

第3類 学校経営、事務室経営、学年・学級経営、保健室経営、食に関する指導や保健指導等を中心とする教育実践

※ 第3類は、「管理職（校長・副校長・教頭）の部」「教諭等（主幹教諭・指導教諭・教諭）の部」「養護教諭の部」「栄養教諭の部」「事務職員等の部」の5部門に分けて、職種毎に審査します。

※ 教育実践研究論文は、「生きる力」を育む教育の実践という立場から、応募者が上記3類の中から具体的な内容と研究主題を決めてまとめることとします。なお、応募は、いずれかの類で一人1編とします。

募集対象 県内国・公・私立の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校に勤務する教職員の学校研究及び個人研究とします。

応募要件 「第52回研究論文集」に掲載している「課題研究の進め方」に則って研究・実践し、その成果をまとめてください。公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に発表したもの及び他団体に応募済みのものや他の募集と重複しての応募はできません。※本年度は「教育実践研究論文の書き方」に関する研修会を開催する予定です（8月中）。教育実践研究論文を執筆される方は、ぜひ、ご参加ください。

論文の量 論文の作成は、ソフトウェア「Microsoft Word」を使用してください。

写真・図表等すべてを含めて、モノクロとし、要旨1ページと本文4ページとします。

要旨は、48字×43行1段組1頁、本文は、24字×43行×2段組4頁、共にA4判10.5ポイントとします。

※ 論文募集の要項及び雛形は、本支部HP（URL：<http://www.mkjyoko.co.jp/>）にあります。

（「宮崎教弘」での検索も可能です）

原稿とその扱い

○原稿は応募者自身の実践研究によるもので、他に応募や発表をしていないものに限りです。

○原稿には類の別、主題、勤務校、職名、氏名（フリガナを付けてください）等を明記してください。

○原稿は持参または郵送とし、教育実践研究論文のデータを入力したCDも提出してください。（PDFは不可）

○原稿の著作権は本支部に帰属し、提出された原稿は原則として返却しません。

○論文に使用する写真や個人が特定できる記述等については、本人及び保護者の承諾が必要となりますのでご配慮ください。

○入賞論文は、教育実践研究論文集に全文を掲載し、県内の学校及び教育関係機関に配付します。

※ 論文審査等についての一切の権限は「本支部」にあるものとします。

審査

選考基準

○ 選考の観点1

① 現代の教育的課題を適切に取り上げているか。

② 教育課程上に適切に位置付けられ、授業の改善に資するものとなっているか。

③ 子供の変容・発達の姿が見られるか。

④ 理論と実践が一体となった研究となっているか。

⑤ 研究内容・方法の価値が高く、他の学校でも活用・実践できるか。

○ 選考の観点2

① 論旨が明確であるか。

② 論文の展開や文章の構成が筋道立っているか。

③ 表記は適切であるか。

表彰

○表彰式は、令和8年2月14日（土）の予定です。

○各部門・各類とも第1席・2席・3席までの入賞校・入賞者を表彰します。

入賞校には表彰状と研究助成金（第1席10万円・第2席8万円・第3席6万円）を贈呈します。

入賞者には表彰状と研究助成金（第1席5万円・第2席4万円・第3席3万円）を贈呈します。

○審査委員会からの推薦があれば、特別賞として次の賞も贈呈します。

（例）①奨励賞（図書カード1万円分）：入賞に準ずる優れた教育実践研究論文を推薦対象とします。

②学校賞（図書カード2万円分）：応募者が複数の学校を推薦対象とします。

※ 入賞者・奨励賞以外の方へは、研究助成として図書カード3千円分を贈呈します。

※ 日教弘教育賞論文、東京海上日動教育振興基金研究助成への応募については、日教弘宮崎支部教育実践研究論文の応募論文の中から推薦します。

提出先

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 宮崎支部

〒880-0841 宮崎市吉村町曾師前甲3158-1 電話 0985-78-0055

締切

令和7年12月26日（金）午後5時 ※ 必着

個人情報の取り扱いについて

教育実践研究論文にご記載いただいた個人情報は、選考及び選考結果の通知のため使用いたします。

なお、入賞者の論文につきましては、氏名、所属、職名等を公表いたしますのでご了承ください。